

平成 17 年 7 月 11 日

各 位

株式会社 ファルコバイオシステムズ  
京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地  
代表取締役会長兼社長 赤澤 寛治  
(コード番号：4671 東証・大証各第二部)

## MLPA 法による遺伝子解析用試薬の国内独占販売の開始について

当社は、オランダのバイオベンチャー企業である MRC - Holland b.v.(以下、MRC 社)との間に、MRC 社が製造販売する遺伝子解析用試薬「SALSA<sup>®</sup> MLPA<sup>®</sup> kit」の、わが国における独占販売契約を平成 17 年 7 月 11 日に締結し、国内での販売を開始することにいたしました。

MLPA 法は MRC 社が独自に開発した新規遺伝子解析法であり、「SALSA<sup>®</sup> MLPA<sup>®</sup> kit」という商品名で平成 14 年 1 月に製造販売を開始した新しい遺伝子解析用試薬です。これは、PCR 法や全塩基配列直接解析法を始めとする従来の遺伝子解析法では検出が困難であった大規模遺伝子変異(exon の欠失など)を、専用機器を必要とせず高感度かつ特異的に検出することができるものです。

「SALSA<sup>®</sup> MLPA<sup>®</sup> kit」は、これまで測定上の限界から見逃されていた可能性のある遺伝子変異パターンを正確に検出することができるので、ヒト遺伝子研究分野において、疾患の易罹患性(罹り易さ)と遺伝子変異との関係に関する知見がさらに深まることになるため、遺伝子解析には必須のツールとして、わが国でも今後その有用性が高まるものと期待されます。

当社は平成 12 年 1 月、米国のミリアド・ジェネティクス社との間に同社の持つ疾患関連遺伝子特許の国内独占使用権契約を締結し、以来わが国におけるヒト遺伝子検査の普及に鋭意取り組んで来ております。

この度、MRC 社の試薬販売を開始することによって、当社が展開する遺伝子検査事業の拡充を図るとともに、ヒト遺伝子研究の発展に大きく貢献できるものと考えております。

本試薬の販売は当面研究用途に限定されるため、会社業績への影響は軽微であります。  
(売上見込み 平成 18 年 9 月期：2 千万円 平成 20 年 9 月期：1 億円)

以上

**【MRC 社の概要】**

社 名：MRC – Holland b.v. (エムアールシー ホランド)

所在地：Hudsonstraat 68, 1057 SN Amsterdam, The Netherlands

代表者：J.P.Schouten (Managing Director)

設 立：1985年

資本金・売上高：非公開 (非上場企業のため)

**【ご参考】**

SALSA： Selective Adaptor Ligation, Selective Amplification

MLPA： Multiplex Ligation-dependent Probe Amplification

PCR： Polymerase Chain Reaction

Exon： DNA 塩基配列中で mRNA を経て実際にタンパクへ翻訳される領域のこと

本件に関するお問い合わせ先：  
株式会社ファルコバイオシステムズ  
(広報室) 電話 075-257-8501